

講座の目的：e-Stat（政府統計の総合窓口）※1、統計GIS※2、API機能※3を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

開 講 日：令和2年1月14日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、小谷祐一朗氏（「GEEQ※4」開発者）、
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週	各週のテーマ	内 容
1	e-Stat※1を使ったデータ分析	e-Stat※1の統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ (e-Stat※1の機能紹介、活用事例紹介等)
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ (公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等)
3	統計GIS※2の活用	統計データと地図を組み合わせた統計GIS※2の活用方法を学ぶ (jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等)
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能※3の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ (統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等)

※1 令和元年5月のリニューアルを反映させた講義内容

※2 地図で見る統計（jSTAT MAP）

※3 プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能

※4 「GEEQ（ジーオ）」は不動産販売価格予測サイト

▶ 講座の流れ

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、
最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率
により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のための データサイエンス入門」

（講座の特徴）

データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

（開 講 時 期）

平成27年3月・11月

平成28年3月※・12月

平成29年5月※

平成30年5月、11月※

平成31年4月※、令和元年10月

（学 習 時 間）

1回10分程度×6～9回程度
（1週間）×4週

（実 績）

社会人を中心に延べ
約76,000人が受講

「社会人のための データサイエンス演習」

（講座の特徴）

「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

（開 講 時 期）

平成28年4月・11月※

平成29年11月

平成30年6月※

令和元年5月、10月※

（学 習 時 間）

1回10分程度×5～6回程度
（1週間）×5週

（実 績）

社会人を中心に延べ
約36,000人が受講

「誰でも使える 統計オープンデータ」

（講座の特徴）

公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

（開 講 時 期）

平成29年6月・10月※

平成30年12月

（学 習 時 間）

1回10分程度×5～7回程度
（1週間）×4週

（実 績）

社会人を中心に延べ
約15,000人が受講